

石倉西遺跡 — 古代ロマンに触れる —

先日、仕事中に偶然、明野地区で遺跡発掘調査が行われているのを知りました。道路などの建設時には、行政調査として発掘が行われますが、この調査は「筑西つくば線バイパス」の造成工事に伴い昨年8月に開始されました。そこで、調査を行う（公財）茨城県教育財団で埋蔵文化財指導員の櫻村宣行さんにお話を伺いました。

鮮やかに蘇る古代の生活

調査範囲はサッカーコートほどの



しまだ さとる 島田 敏 さん(海老ヶ島)

市内にある遺跡や史跡を、みなさんに知ってもらえる機会が増えるといいなと思いました。



埋蔵文化財指導員 櫻村さん

広さで、竪穴式住居や柱の跡が数多く広がり、須恵器や土師器などの破片が地面から露出していました。見つかったものから推測できる時代を櫻村さんに伺ったところ、遺跡は主に、縄文、古墳、奈良、平安、中世とのことでした。

縄文時代のものには、狩猟を目的とした深さ約1mの落とし穴が見つかっています。住居の跡はないので、少し離れた場所に集落があり、狩りのためにここに来ていた可能性があるそうです。

そして古墳時代のものには、普通の集落では発見されない銅地金張の耳飾りが出土していることから、近くに古墳があったことが推測されるそうです。奈良・平安時代のものには竪穴式住居跡があり、人がたくさん住んでいた痕跡が見つかっているようです。

中世のものには陶磁器、人骨、馬骨、火葬施設、墓などの遺構が多数発見されており、区画されていて井戸があることから、お墓やお寺とお寺が一体になったものがあつたと思われます。

さらに、櫻村さんは出土したもののについて「奈良時代の大きな住居跡から銅地金張の帯金具が出ています。位の高い役人が住んでいたか、当時の役所が近くにあったことがうかがえます。常陸国新治郡の下には、12の郷があつたといわれていますので、この場所は



帯金具 耳飾り

発掘体験・見学は大歓迎

現在、令和4年度の調査は終了し、今年の4月以降に発掘の再開が予定されています。

同財団では、事前申込制で発掘体験や見学を積極的に受け入れてお



詳しい調査結果 (発掘情報いばらき)

帯金具が発見された古代の建物跡

り、櫻村さんは「貴重な機会なので、学校の歴史の授業や有志のグループでぜひ見学や体験に来てほしいです。発掘に興味を持ってくれる人が増えるとうれしいです」と話します。

取材を終えて

実際の発掘現場を見て、先人の暮らしが垣間見られることが興味深くとてもわくわくしました。調査完了後は、道路となり遺跡はなくなってしまうですが、資料は保存され、遺跡の説明会も予定されているようです。ぜひ今年の春の調査再開を楽しみにしていきましょう。

発掘現場の見学・体験について

【申】問(公財) 茨城県教育財団
☎029-1225-6587

新治廃寺跡

新治の地名の始まり

奈良時代に編纂された『常陸国風土記』の中には「新治」の地名の由来について「新治の郡を治める国造の祖先・比奈良珠命を新治に遣わしました。その命が新治の国にお出でになったときに、新しい井戸を掘り

筑西市には、多くの歴史や文化財が残されています。文化財は、郷土の長い歴史の中で生まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な市民の財産です。今回は、協和地区の国指定史跡「新治廃寺跡」について紹介します。

【問】文化スポーツ課(本庁3階) ☎22-10183



ました。井戸からは、たいへん清い水が湧き流れ出ました。そこで新しい井戸を治ることに由来して、郡名を新治と付けました」と書かれ、1300年も前から新治という地名があることが分かっています。郡の位置や地名の由来も書かれ、郡の中心地には、役所や大寺が街道沿いに置かれました。

新治廃寺跡とは

新治廃寺跡は、昭和14年に、茨城女子師範学校の高井悌三郎先生と地元古郡の藤田清氏が中心となり調査された寺院跡です。金堂をはさんで、その東西にそれぞれ東塔と西塔、金堂の北には講堂、食堂、僧房が一直線に並ぶという、全国に数例しか見つかっていない非常に珍しい伽藍配置をもっています。

新治郡の拠点だった場所

東塔には、心礎と呼ばれる、塔の中心となる礎石が残されています。心礎には、心柱という大きな柱を支える役割があり、この心礎の穴の大

きさは40cmほどで、規模が小さい三重の塔があつたと考えられます。また、金堂の礎石は、堅い花こう岩で柱座を造り出しています。こうした特色は、地方寺院の中でも郡(常陸国新治郡)の中心的な大寺としての機能を兼ね備えていたものと考えられています。



東塔跡の心礎

出土遺物には、寺院の屋根の軒先を飾った多くの瓦とともに、文字が書かれたものがあります。その多くは、郡内の各郷の頭文字が書かれており、寺院建設を郷に負担させた証であると推察されています。

新治郡と周辺について

茨城県はかつて常陸国と呼ばれ、国府(現在の県庁)は、現在の石岡市に置かれていました。常陸国はさらに、新治郡や真壁郡、筑波郡など11郡に別れ、それぞれの郡の中心的な役所機能のある場所は郡衙や郡家と呼ばれていました。

市民記者を募集します

地域についてもっと知りたい人や、隠れた名スポットを知っている人など、市民記者として活動して下さる人を募集します。

私たちと一緒に活動しませんか?

令和4年度市民記者のみなさん



【申】問 広報広聴課(本庁4階) ☎24-2172

市民記者の主な活動内容

- 地域のニュースなどを発掘し、広報紙の「市民記者のページ」で紹介する
- 月1回開催する市民記者会議で、広報紙の内容などについて話し合う など

- 募集人数 若干名
- 対象 市内在住で、市民記者会議(月1回)に出席できる人
- 申込方法 2月8日(水)までに電話で ※後日面接などを行います。